

水俣市公共下水道事業会計決算の概要

【お問い合わせ】上下水道局給水総務管理室 ☎61-1627

◇令和6年度公共下水道事業会計決算

公共下水道事業は、令和2年4月1日に地方公営企業法の財務規定等を適用し公営企業会計へ移行しており、収益的収支と資本的収支に分けて予算を管理しています。

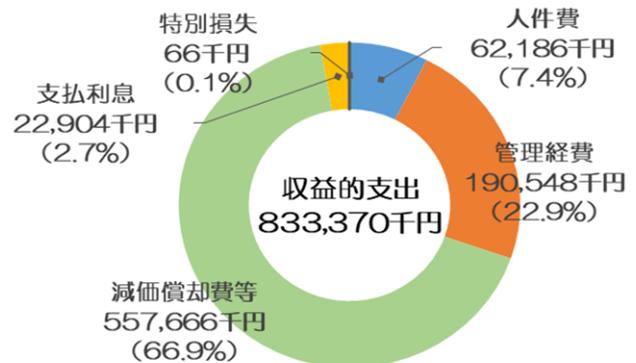
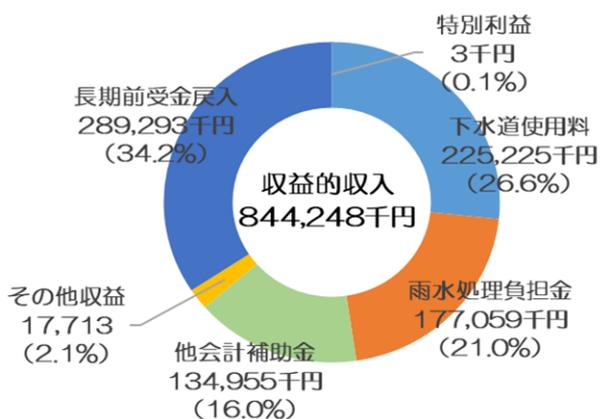
収益的収支 (金額は税抜き)

家庭や事業所などから排出される汚水を処理するための収入と支出です。令和6年度は1,088万円の純利益となりました。下水道事業に係る費用は、原則、下水道使用料収入で賄う必要がありますが、浸水対策に係る雨水処理負担金や、下水道使用料収入の不足分を補てんするための補助金など、一般会計から繰入金をもらいながら事業経営を行っています。

収益的収入（税抜）	決算額
1 営業収益	418,898千円
下水道使用料	225,225千円
雨水処理負担金	177,059千円
その他収益	16,614千円
2 営業外収益	425,347千円
他会計補助金	134,955千円
長期前受金戻入	289,293千円
その他収益	1,099千円
3 特別利益	3千円
計 A	844,248千円

収益的支出（税抜）	決算額
1 営業費用	810,400千円
人件費	62,186千円
管理経費	190,548千円
減価償却費等	557,666千円
2 営業外費用	22,904千円
支払利息	22,904千円
その他支出	0千円
3 特別損失	66千円
計 B	833,370千円

純利益 (A - B) 10,878千円



※割合については端数処理の都合で合計などが整合しない場合があります。

**資本的収支
(金額は税込み)**

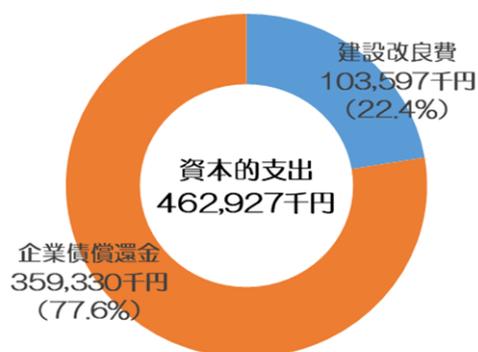
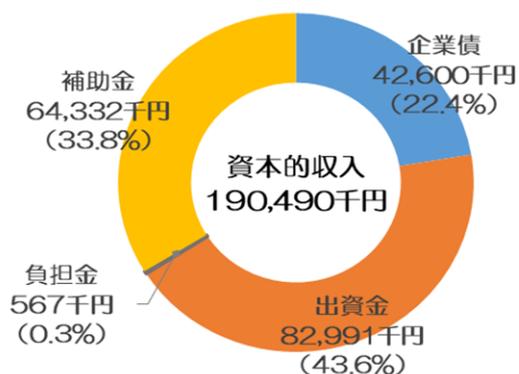
浄化センター、雨水ポンプ場、管渠などの施設を建設・改良するための収入と支出です。令和6年度は収入に約2億7,244万円の不足が生じましたが、留保している資金などで補てんしました。

資本的収入 (税込)	決算額
1 企業債	42,600千円
2 出資金	82,991千円
3 負担金	567千円
4 補助金	64,332千円
計 A	190,490千円

資本的支出 (税込)	決算額
1 建設改良費	103,597千円
2 企業債償還金	359,330千円
計 B	462,927千円

収支不足額 (B - A) 272,437千円

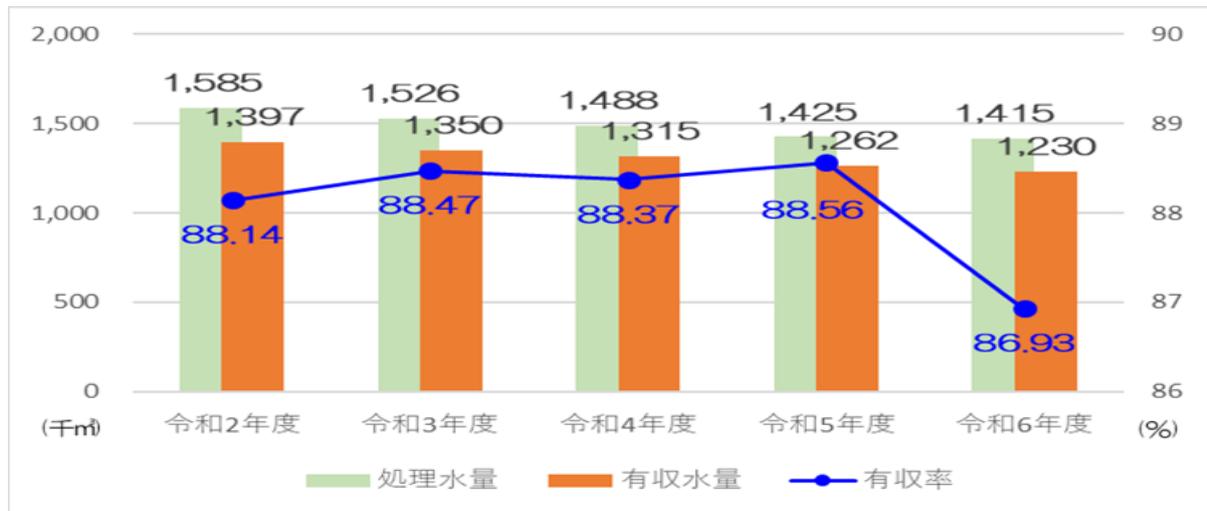
補填財源 272,437千円
(損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額)



※割合については端数処理の都合で合計などが整合しない場合があります。

令和6年度 主な建設改良事業等	【前年度繰越事業】 牧ノ内雨水ポンプ場建設（建築）工事委託	41,400千円
	【前年度繰越事業】 水俣市雨水管理総合計画策定業務	17,820千円
	浄化センター改築・耐震実施設計業務委託	24,500千円
	百間汚水中継ポンプ場耐震診断業務	8,250千円

◇処理水量・有収水量・有収率の推移

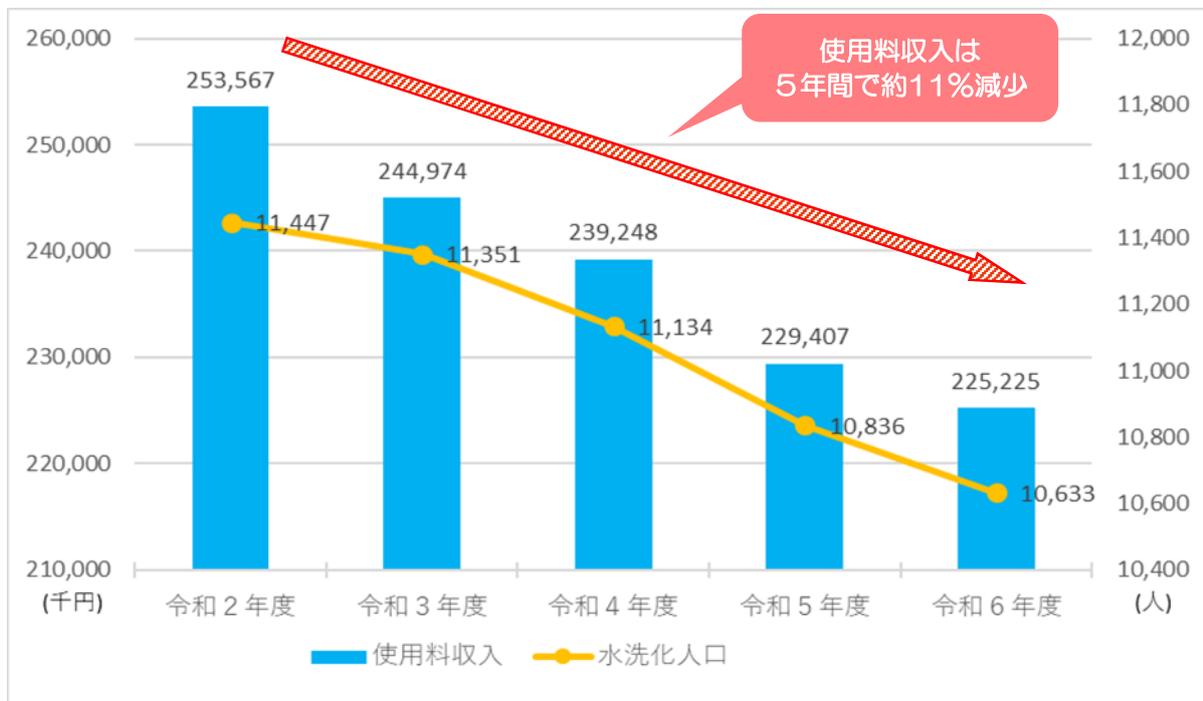


処理水量・・・浄化センターで処理した汚水の水量

有収水量・・・使用料収入の対象となった処理水量

有収率・・・有収水量を処理水量で割った値。100%に近いほど施設の稼働状況が収益につながっていることを表す。

◇水洗化人口・使用料収入の推移



人口減少に伴う水洗化人口の減により使用料収入は年々減少しています。下水道の管路整備はおおむね完了しており下水道区域内の水洗化率も約93%に達していますので、現行の使用料単価の場合、将来的に使用料収入の増収は見込めません。

◇汚水処理原価と使用料単価の推移



◇企業債償還金・企業債残高の推移

